

情報連絡員総括表（2022年5月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 59 名：回収率 98.3%）

○2022年5月のDI値は、前月との比較において「売上高」「取引条件」「資金繰り」の3指標が上昇し、他の6指標が悪化する結果となった。

新型コロナウイルス感染者数が全国的に減少傾向にある中、商店街や観光地へ人の動きが戻りつつあり、商店街やサービス業、運輸業において売上高が増加した。一方、製造業においては、原材料・燃料等の高騰により収益状況が悪化傾向にあり、中国ロックダウンの影響による部品調達難も顕著となっている。

○「製造業」では、前月との比較において、「売上高」「取引条件」の2指標が改善。「収益状況」「業界の景況」はそれぞれ23.4ポイントの減少となった。

輸送用機械器具製造業からは、「中国のロックダウンで部品調達への影響が続いており、生産計画の変更が頻繁に行われている。中国の部品メーカーは徐々に稼働を再開しているものの、物流の混乱により部品調達への影響はしばらく続く見込みで、対応に苦慮している」とのコメントが寄せられた。

○「非製造業」では、前月との比較において、「売上高」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の5指標が改善した。

職別工事業（鉄筋業）からは、「昨年同時期に比べ設備投資が活発になり、かつ大型工事が動き出している。それにより人手不足は全国的に顕著で、夏に向けかなりのひっ迫が予想される」との声が寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2022年5月	3.4	-11.6	23.7	-13.5	-35.6	-18.6	-40.0	-18.6	-32.2
2022年4月	-11.7	-22.8	26.7	-23.4	-31.7	-20.0	-30.0	-18.3	-26.7
増減	15.1 ↑	11.2 ↓	-3.0 ↓	9.9 ↑	-3.9 ↓	1.4 ↑	-10.0 ↓	-0.3 ↓	-5.5 ↓

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体				
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減		
売上高	2022年5月	-20.0	6.6 ポイント	↑	27.6	24.3 ポイント	↑	3.4	15.1 ポイント	↑	2022年4月	-26.6	3.3	-11.7
	2022年5月	-6.7			-23.1			-11.6			2022年4月	-16.6	-35.7	-22.8
在庫数量	2022年5月	-6.7	9.9 ポイント	↓	-23.1	12.6 ポイント	↓	-11.6	11.2 ポイント	↓	2022年4月	-16.6	-35.7	-22.8
	2022年5月	10.0			37.9			23.7			2022年4月	13.3	40.0	26.7
販売価格	2022年5月	10.0	-3.3 ポイント	↓	37.9	-2.1 ポイント	↓	23.7	-3.0 ポイント	↓	2022年4月	13.3	40.0	26.7
	2022年5月	-13.3			-13.8			-13.5			2022年4月	-20.0	-26.7	-23.4
取引条件	2022年5月	-13.3	6.7 ポイント	↑	-13.8	12.9 ポイント	↑	-13.5	9.9 ポイント	↑	2022年4月	-20.0	-26.7	-23.4
	2022年5月	-53.4			-17.2			16.1 ポイント			↑	-35.6	2022年4月	-30.0
収益状況	2022年5月	-53.4	-23.4 ポイント	↓	-17.2	16.1 ポイント	↑	-35.6	-3.9 ポイント	↓	2022年4月	-30.0	-33.3	-31.7
	2022年5月	-20.0			-17.3			2.7 ポイント			↑	-18.6	2022年4月	-20.0
資金繰り	2022年5月	-20.0	0.0 ポイント	-	-17.3	2.7 ポイント	↑	-18.6	1.4 ポイント	↑	2022年4月	-20.0	-20.0	-20.0
	2022年5月	-40.0			-40.0			-40.0			2022年4月	-30.0	-30.0	
設備操業度	2022年5月	-40.0	-10.0 ポイント	↓	/				-40.0	-10.0 ポイント	↓	2022年4月	-30.0	-30.0
	2022年5月	-23.3			-13.8	-0.5 ポイント	↓	-18.6	2022年4月			-23.3	-13.3	-18.3
雇用人員	2022年5月	-23.3	0.0 ポイント	-	-13.8	-0.5 ポイント	↓	-18.6	-0.3 ポイント	↓	2022年4月	-23.3	-13.3	-18.3
	2022年5月	-46.7			-17.2			12.8 ポイント			↑	-32.2	2022年4月	-23.3
業界の景況	2022年5月	-46.7	-23.4 ポイント	↓	-17.2	12.8 ポイント	↑	-32.2	-5.5 ポイント	↓	2022年4月	-23.3	-30.0	-26.7

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	1
	繊維工業	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	2	0	2	0	1	0	3
	木材・木製品	1	1	0	2	0	1	0	2	0	3	0	0	0	1	0	0	1	2
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	窯業・土石製品	2	1	0	0	3	0	2	0	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0
	鉄鋼・金属工業	2	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1
	一般機器	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
	輸送用機器	0	5	2	2	0	0	0	1	0	5	0	1	0	3	0	3	0	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	X					
	小売業	2	2	0	2	4	1	0	2	0	4	0	2						
	商店街	4	1	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1						
	サービス業	3	0	X				2	0	0	0	3	0					0	0
	建設業	1	3					2	0	1	3	1	3					0	1
	運輸業	3	0	2	0	2	0	1	2	0	2	1	1					1	1

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	・石油・エネルギー高騰による経営負担が大きくなっている。
パン	・原油価格の上昇に伴いナフサ価格が高騰しており、パン製品を包装するビニール袋の価格について昨年度末より20%の値上げ要請がある。小売店はコロナ感染防止策としてパンをビニール袋で個包装して販売をするようになったため、経費がさらに増加している。
織物	・原材料となる糸値の上昇に加えエネルギーコストも上昇するなど、生産活動を圧迫する外部環境の悪化が暗い影を落としている。 ・売上状況は前年比横ばいだが長期に渡り低迷が続いている。中央・地方問屋に在庫が残り(綿製品)この一年で在庫処分ができるか疑問が残る。加えて原材料の高騰により販売が難しくなっている。
宗教用具	・売上は増加傾向にあるものの、一部資材が遅延のため生産に影響が出ないか危惧している。また副資材に関する値上げで収益面は厳しくなっている。
製材業、木製品	・製材業者は、仕入値も販売価格も高止まりし落ち着いており、依然高操業が続いている。
印刷	・資材の値上げで顧客転嫁せざるを得ず、販売価格は上昇。また、コロナの影響で、前年に続いて需要が低迷している。 ・資材や作業費が値上げになったが、価格転嫁が進んでいない。 ・用紙値上げが間もなくされるため、厳しいけれど値上げ要請をしなくてはならないが、同業者間の熾烈な受注取り合いが続いており、簡単には値上げが出来ないと予測される。 ・行政の入札では最安値を更新した。同業者の値引き合戦が行われており、業界の先行きに不安を感じる。
セメント・同製品	・地域による受注件数に差があるが、県全体として昨年よりは微増している。収支に関しては、セメント・骨材等の単価アップを背景に受注単価が上がっているため、売上は上昇しても収支は変わらない現状。
金属製品	・自動車関連業界の操業短縮の影響により、操業度が伸びない。 ・世界情勢の悪化により受注が減っている。
生産用機械器具	・材料費の値上げで当分の間、厳しい状況が続くと思われる。仕事については増加傾向にあるが、先行きが見えない状況が続く。 ・部品調達の遅れから仕掛在庫が増加するとともに、諸々の値上がりからコスト管理が困難を極めている。
電気機械器具	・大型冷蔵庫は、好調な販売に対応した生産が概ね遂行できている。 ・家庭用と業務用エアコンは、部材調達難により計画通りの生産ができず、市場要求に応えられない状況が継続。 ・中国のロックダウン解除などによる今後の部材調達難の解消を反映した挽回計画に備え、人員の確保が問題となりそう。
輸送用機械器具	・材料等の確保のための在庫増加が資金繰りに影響を及ぼしている。また、電力等エネルギー価格の上昇により収益を圧迫している。 ・中国のロックダウンで部品調達への影響が続いており、生産計画の変更が頻繁に行われている。中国の部品メーカーは徐々に稼働を再開しているものの、物流が混乱しており部品調達への影響はしばらく続く見込みで、対応に苦慮している。 ・中国ロックダウンの影響で自動車関連の中国向け輸出入がほぼストップ状態。6月から順次再開と言われているが、通常のような状態に戻るには1、2カ月かかるのではないかとと思われる。 ・自動車メーカーは上海ロックダウンの影響により生産減少。

非製造業

セメント卸売業	・公共関連工事の落ち込みの影響が大きく、鈍い出荷状況が続いている。
各種商品卸売業	・軽油価格の上昇による物流コストの高騰と円安による資材原価の高騰等により、見かけの売上高が伸びるものの、利益が一段と圧迫される傾向が強まる。
鮮魚小売業	・小売業、卸売業とも売上が回復しているが、魚価の高騰が著しく収益の改善には至っていない。今後も原材料高がおさまりそうもなく、苦しい状況が続くものと思われる。

燃料小売業	・原油高に円安が進行する中、政府の燃料価格激変緩和対策事業補助金が発動され、辛うじて160円台の水準を維持できている。今後も中東やウクライナ情勢など不安定要素が多くあり、多少の上下はあれ高値で推移していくのではというのが大方の予想。今後政府の激変緩和対策がなくなった場合もどうなるか心配である。
野菜・果実小売業	・全体的に仕入れ価格が上昇している。特に玉葱、ジャガイモが例年の倍以上の値段になっており、組合員の経営に大きく影響を及ぼしている。
各種商品小売業	・今後、以前のような経済状況には戻らないと予想され、コロナ対策、円安、物価高、エネルギー問題などすべてが消費行動を冷え込ませる要因であり、商店街個店は先が見えない状態となっている。
	5月にサンバカーニバルが3年ぶりに開催された。来街者もコロナの感染者が減少してきたため、増加している。こどもの日イベントの実施、新茶イベント「呉服茶W」を静岡市とコラボで実施、また、ツインメッセで開催されたホビーショーとI Love しずおか協議会がコラボしたおまちスタンプラリーの開催により、県内外からのお客様が来街し、相乗効果があった。 ・5月の誕生祭は前年比106%であり、少しずつではあるが客足が戻っているようである。
宿泊業	・ゴールデンウィークにまん延防止等の規制がなく宿泊予約等順調に推移し、コロナ前の8割程度に回復した。団体旅行はまだまだ動きが鈍く、大規模収容の宿泊施設は厳しい状況が続いている。しずおか元気旅が6月末まで延長されたが、今後は首都圏からの誘客を図るため、全国展開の「GO TOキャンペーン」の早期再開を期待する。
情報サービス業	・受託開発を中心にソフトウェア開発案件の依頼が大幅に増えてきたが、各組合員企業が持ち合わせる案件も増えたため作業を断るケースも発生してきた。開発依頼も高度化しており、それに応じられない企業が淘汰され始めてきていると感じる。
総合工事業	・物価上昇に請負金額がついて行かないため、収益を圧迫している。
	・民間工事は5月に入っても材料価格の上昇が続いており、施主の予算に合わない計画が多くなっている。 ・鋼材価格の上昇が止まらない。加工費が材料費に食われてしまっている。
電気工事業	・工事用備品等の調達滞り、工事の完成時期に遅れが出ている。完成しないと工事代金を回収することができないため、資金繰りの悪化が懸念される。
職別工事業	・昨年同時期に比べ設備投資が活発になり、かつ大型化した工事が動き出している。それにより、人手不足は全国的に顕著で夏に向けかなりのひっ迫が予想されている。 ・鋼材の価格上昇もあり、受注単価の抑え込み傾向がみられるが、応じない業者も散見されてきた。
道路貨物運送業	・5月の荷物情報量は、全体として昨年より増加傾向であり、特に通販関係の荷動きは活発であった。また、6月の各種商品の値上げに向けて、前出し出荷が多くみられた。ただ、中旬以降は荷物情報が減少し、それに伴い運賃の低下がみられた。相変わらず燃料高騰やアドブルーの供給不足が続き、収益への影響は甚大な状況である。
	・運賃の値上げ交渉は進んでおり、荷主も理解をしてくれているが、燃料の高騰が止まらず収益状況の好転までたどり着かない。荷主企業の業績により、運賃の値上げが進まず経営状況が悪化する運送業者も多くある。
道路旅客運送業	・県内の運送収入は前年同月比で18%程度上回ったものの、コロナ前と比較すると依然としてマイナス3割を超えており、交通圏によってはマイナス4割を超える地域もあるなど、旅客需要の回復は非常にゆっくりである。昨年から続いている燃料高騰や融資の返済など厳しい資金繰りが続いているところではあるが、ゴールデンウィーク以降、観光に人の動きが出始めている。ビジネス関係はまだまだといったところもあり、引き続き長期的な経済対策に期待する。

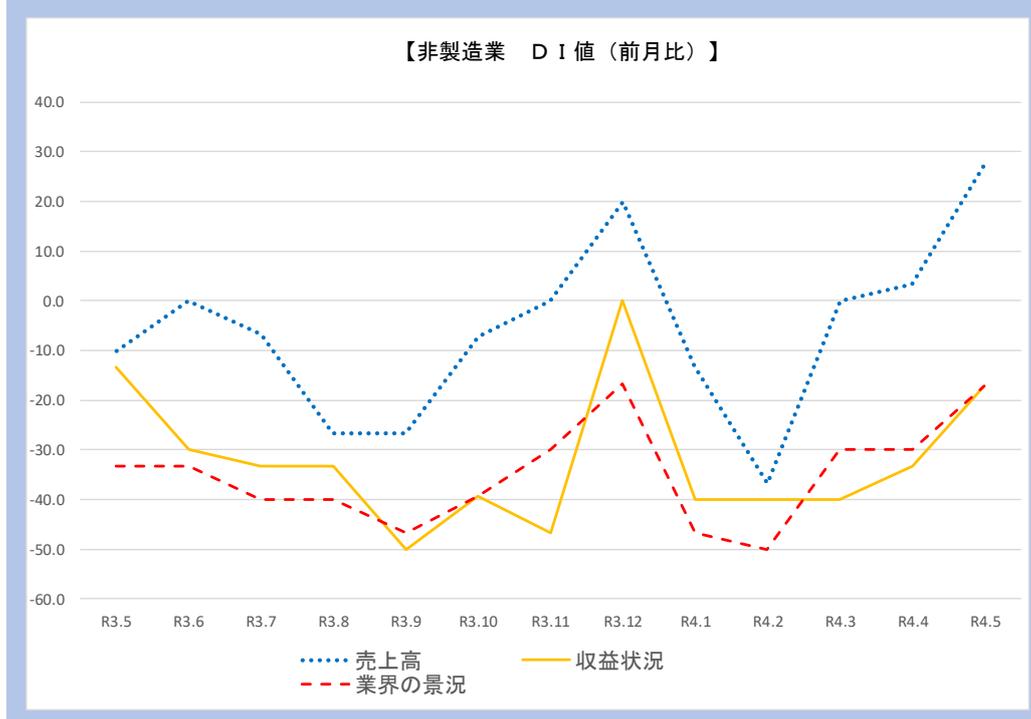
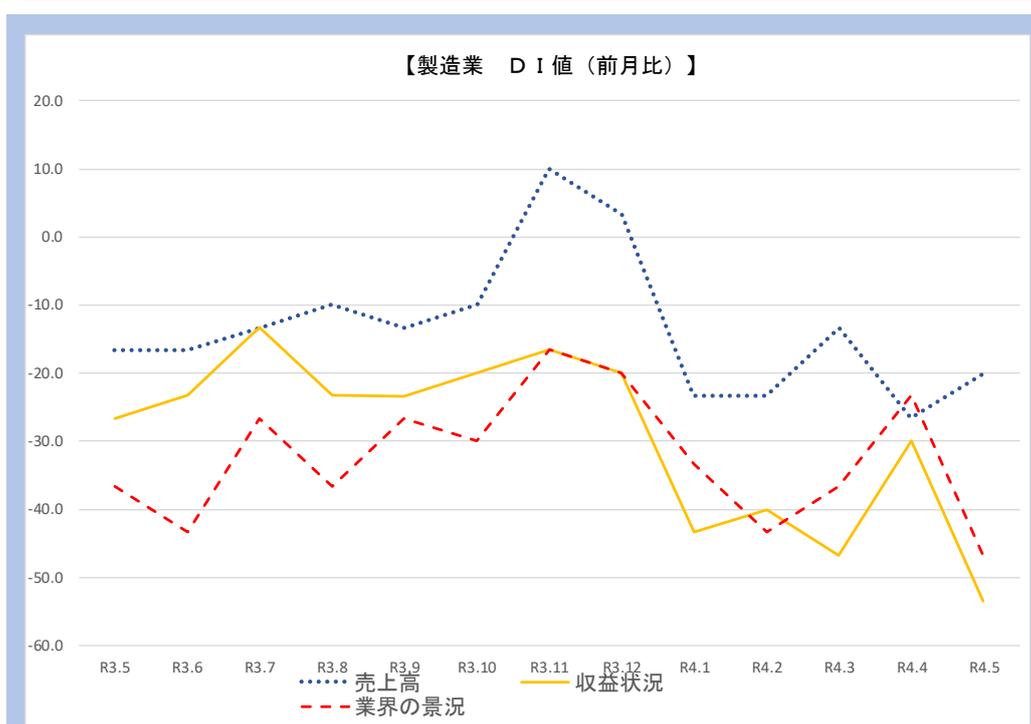
4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2021年5月期～2022年5月期までの推移

全体	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5
売上高	-13.3	-8.4	-10.0	-18.4	-20.0	-8.6	5.0	11.7	-18.3	-30.0	-6.6	-11.7	3.4
収益状況	-20.0	-26.6	-23.4	-28.3	-36.7	-29.4	-31.7	-10.0	-41.7	-40.0	-43.3	-31.7	-35.6
業界の景況	-35.0	-38.3	-33.3	-38.3	-36.6	-34.5	-23.4	-18.4	-40.0	-46.6	-33.4	-26.7	-32.2

製造業	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5
売上高	-16.6	-16.7	-13.4	-10.0	-13.3	-10.0	10.0	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0
収益状況	-26.7	-23.3	-13.3	-23.3	-23.4	-20.0	-16.6	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4
業界の景況	-36.6	-43.4	-26.7	-36.6	-26.7	-30.0	-16.6	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7

非製造業	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5
売上高	-10.0	0.0	-6.7	-26.7	-26.7	-7.1	0.0	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6
収益状況	-13.4	-30.0	-33.3	-33.3	-50.0	-39.3	-46.7	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2
業界の景況	-33.3	-33.3	-40.0	-40.0	-46.7	-39.3	-30.0	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2



■2021年5月期～2022年5月期までの推移

売上高	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5
製造業	-16.6	-16.7	-13.4	-10.0	-13.3	-10.0	10.0	3.3	-23.3	-23.4	-13.3	-26.6	-20.0
非製造業	-10.0	0.0	-6.7	-26.7	-26.7	-7.1	0.0	20.0	-13.3	-36.7	0.0	3.3	27.6

収益状況	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5
製造業	-26.7	-23.3	-13.3	-23.3	-23.4	-20.0	-16.6	-20.0	-43.3	-40.0	-46.7	-30.0	-53.4
非製造業	-13.4	-30.0	-33.3	-33.3	-50.0	-39.3	-46.7	0.0	-40.0	-40.0	-40.0	-33.3	-17.2

業界の景況	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R4.5
製造業	-36.6	-43.4	-26.7	-36.6	-26.7	-30.0	-16.6	-20.0	-33.4	-43.4	-36.7	-23.3	-46.7
非製造業	-33.3	-33.3	-40.0	-40.0	-46.7	-39.3	-30.0	-16.6	-46.6	-50.0	-30.0	-30.0	-17.2

